

On a Comparison of Alternative Specifications of Highly Interest-Elastic Money Demand under a Liquidity Trap in Japan

甲南大学 中島清貴
一橋大学 齊藤 誠

本論文は、セミログとダブルログの貨幣需要関数の予測力を比較することで、流動性の罍が存在するための利子半弾性値の条件を実証的に調査することを試みている。本論文では、1999年から2006年までのゼロ金利政策下でダブルログの貨幣需要関数が想定するような高い利子半弾性値ではないにしても、1990年代半ばに十分に高くなった利子半弾性値を伴うようなセミログの貨幣需要関数が、ゼロ金利政策下においてさえ相対的に優れた予測力を有することを発見した。このことは、流動性の罍が実際に現出するための条件として、必ずしも、ダブルログの貨幣需要関数がゼロ金利政策下で想定するような高い利子弾力性を必要としないことの可能性を示している。

JEL 分類コード: E31, E41, E52.

キーワード: 貨幣需要, ゼロ金利政策, 流動性の罍, 構造変化, 予測力比較, ブーツストラップ.